

ロシア工業団地セミナー in 東京
「ロシアにおける日本企業の事業拡大のために
～生産の現地化と産業協力」のご案内

2019年4月15日
(一社)ロシアNIS貿易会

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、(一社)ロシアNIS貿易会は、ロシアの工業団地関係者を日本に招へいし、5月15日(水)、ホテルニューオータニにてロシア工業団地セミナーin東京「ロシアにおける日本企業の事業拡大のために～生産の現地化と産業協力」を開催いたします。

ロシア経済は2017年に1.6%、2018年には2.3%の成長率を記録し、緩やかな回復が続いています。2018年5月には通算4期目となるプーチン政権が発足し、2024年に向けての基本政策も発表されました。

ロシア工業団地協会はロシアの主要な公営・民営の工業団地や経済特区、地方開発公社、建設・エンジニアリング企業、コンサルティング会社等を会員としており、日本との協力にもたいへん熱心で、2013年以来、毎年日本各地で同様のセミナーを開催しています。

今回のセミナーでは、ロシアの全国・主要地方レベルにおける工業団地の整備と企業誘致支援に関する最新の動きをご紹介するほか、日ロ経済関係の現状、ロシアにおける日本企業の事業拡大の諸条件等についての報告が予定されています。

ご参加を希望される方は、添付のプログラムをご覧ください、「**参加申込書**」に必要事項をご記入の上、**5月10日(金)**までに、一般社団法人ロシアNIS貿易会宛に**Eメール** (webmaster@rotobo.or.jp) もしくは**FAX (03-3555-1052)**にてお申込み下さい。なお、お席数には限りがございますので、満席に成り次第申込みは打切らせて頂きますので、ご了承下さい。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。 敬具

記

- ◆日 時： 2019年5月15日(水) 14:00～17:30
- ◆会場： ホテルニューオータニ ガーデンタワー 宴会場階「翠鳳の間」
〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町4-1
TEL：03-3265-1111(代)
<http://www.newotani.co.jp/tokyo/info/access/index.html>
- ◆共 催： (一社)ロシアNIS貿易会、ロシア工業団地協会
- ◆後 援： 在日ロシア連邦通商代表部ほか
- ◆参加費： 無料
- ◆プログラム： 添付をご参照ください。
- ◆参加人数： 80名(予定)
- ◆使用言語： 日本語、ロシア語(逐語通訳)
- ◆連絡先： 一般社団法人ロシアNIS貿易会
担当：中居、片岡
TEL：03-3551-6218 FAX：03-3555-1052
Email：webmaster@rotobo.or.jp

ロシア工業団地セミナー

«ロシアにおける日本企業の事業拡大のために～生産の現地化と産業協力»

2019年5月15日(水) 14:00～17:30 / 於・ホテルニューオータニ東京 鳳凰の間

プログラム(予定)

2019年4月15日現在

司会:	(一社)ロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所調査部長 中居孝文
開会のごあいさつ	
報告①	「日本企業のロシア事業拡大のツールとしての現地生産」 ロシア工業団地協会事務局長 デニス・ジュラフスキー
報告②	「ロシアにおける外国企業の現地生産化に対する連邦政府の促進策」 ロシア連邦工業商務省(予定)
報告③	「ユーラシア経済連合の一部としてのロシアの事業環境」 ユーラシア経済委員会工業・農業部門参事会員(大臣級) アレクサンドル・スッポーチン
報告④	「地方における日本企業の事業拡大の可能性」 ウリヤノフスク州開発公社社長 セルゲイ・ヴァーシン
コーヒープレーク(名刺交換)	
報告⑤	「日本および外国企業による現地生産の実例」 カルーガ州開発公社社長 ニコライ・アンドレイフ
報告⑥	「ロシア極東における現地生産の可能性」 アワンガルド工業団地(ハバロフスク地方)管理会社社長 デニス・グローシ
報告⑦	「日本企業の事業拡大が有望な産業分野」 中部ウラル開発公社社長 マクシム・プラチク
報告⑧	「ロシアにおける日本企業の現地生産化の有望性と課題」(仮題) (株)IHIグローバル・営業統括本部企画管理部主幹 高橋 信康
報告⑨	「ロシアにおける工場建設の留意点とロシア工業団地協会による日本企業への支援サービス」 ロシア工業団地協会日本・アジア太平洋地区担当顧問 大橋 巖
質疑応答・ディスカッション	
閉会のごあいさつ	

※ 当日の報告者には一部変更の可能性があり得ます。

訪日機関の概要（予定）

2019年4月15日現在

	組織・会社名	組織概要	URL
1	ロシア工業団地協会 	ロシアの工業団地の発展促進を目的とした団体。2010年設立。現在、工業団地の運営機関・会社を中心に130社・機関が同協会の会員となっており、同協会の会員の傘下にある工業団地は全国46の連邦構成体に及ぶ。ロシアの工業団地への日本企業の誘致にたいへん熱心で、2013年から毎年日本各地でセミナーを開催している。	http://www.indparks.ru/en/
2	ロシア連邦産業商業省 	工業、商業、通商分野を所管するロシア連邦政府の省。日本との関係では、経済産業省との合意に基づき、2017年から毎年「ロシア企業の生産性診断事業」及び「ロシアの裾野産業育成のための人材育成事業」を実施している。	http://minpromtorg.gov.ru/en/
3	ユーラシア経済委員会 	ロシア、ベラルーシ、カザフスタン、アルメニア、キルギスが加盟する「ユーラシア経済連合」の事務局機関。ユーラシア経済連合は、2015年1月に発足し、統一関税など上記加盟国内において共通経済圏を創出することを目的とする国際機関。	http://www.eurasiancommission.org/en/Pages/default.aspx
4	ウリヤノフスク州開発公社 	ロシア沿ヴォルガ地方のウリヤノフスク州の投資誘致の支援促進機関。ウリヤノフスク州は日本企業の誘致に力を入れており、同州の工業団地では、現在、ブリヂストン、DMG森精機、タカタといった日本企業の工場が稼働、また地元の自動車メーカーと協力する形でいすゞがトラックの組立を行っている。	http://ulregion.com/en/
5	カルーガ州開発公社 	モスクワから南西200kmに位置するカルーガ州の投資誘致の支援促進機関。カルーガ州は①インフラの整った工業団地、②投資家へのワンストップサービス、③税的優遇といった積極的な投資誘致政策を早くから展開し、フォルクスワーゲンや三菱自動車など多くの外国企業の誘致に成功している。	http://eng.invest.kaluga.ru/
6	アヴァンガード工業団地 	極東地域のハバロフスク地方の工業団地。アヴァンガード工業団地には、日本の日揮等が参加する日ロ合弁企業が入居し、野菜の温室栽培事業を行っている。ハバロフスク地方は、1969年以来、兵庫県と姉妹友好提携を結んでいる（2019年はその50周年）。	http://ip-avangard.com/jp/
7	中部ウラル開発公社 	ロシア・ウラル地方の産業の中心地であるスヴェルドロフスク州の投資誘致の支援促進機関。スヴェルドロフスク州は鉄鋼、機械、軍需といった重工業が盛んな地域で、同州ではニプロ、三島光産が生産活動をしている。	http://investural.com/en

締切：2019年5月10日(金)

送付先：E-mail: webmaster@rotobo.or.jpまたはFAX：03-3555-1052

一般社団法人ロシアNIS貿易会宛 担当：中居、片岡

ロシア工業団地協会セミナー in 東京
「ロシアにおける日本企業の事業拡大のために
～生産の現地化と産業協力」

参加申込書

2019年5月15日(水) 14:00～17:30 /

於・東京 ホテルニューオータニ ガーデンタワー 宴会場階「翠鳳の間」

(1)申込者氏名		英文表記	
(2)勤務先名称			
英文表記			
(3)所属部署			
英文表記			
(4)役職		英文表記	
(5)勤務先住所	〒		
(6)勤務先TEL		(7)勤務先FAX	
(8)E-mail			



ホテルニューオータニ

〒102-8578

東京都千代田区紀尾井町4-1

TEL. 03-3265-1111

FAX. 03-3221-2619

〔電車でお越しのお客さま〕

・赤坂見附駅(地下鉄 銀座線・丸ノ内線) D紀尾井町口 3分

・永田町駅(地下鉄 半蔵門線) 7番口 3分

・麹町駅(地下鉄 有楽町線) 麹町口 6分

・四ツ谷駅(JR 中央線・総武線、地下鉄 丸ノ内線・南北線) 麹町口・赤坂口 8分